

1年 道徳 シラバス

1 道徳科の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。また、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることも大切である。

2 教科における重点目標等

- (1) 他者の考えに耳を傾ける
ペアやグループでの話し合い活動により、さまざまな意見や考えを分かち合う活動をする。
- (2) 自己を見つめる
登場人物に自分を重ね合わせ、道徳的価値や判断について自分と向き合う。
また、課題について根拠を持って発言できるよう、主体的に取り組む。
- (3) 体験活動
学校行事や他教科との関連における体験活動を通して学んだ内容から、道徳的価値について考えを深められるようにする。

3 授業に臨む上の留意点

- (1) 積極的な発言
周りの人と意見が違うことを恐れず、自分の感じ方を素直に表現することが大切です。
- (2) 他者の意見に耳を傾ける
自分と異なる考えや感じ方があることを理解することが大切です。さまざまな考えに触れながら、自分の意見をより深く掘り下げてみましょう。

4 評価の視点

評価の視点	視点の内容	評価の方法
・物事を多面的・多角的に考えている	・広い視野をもって多面的・多角的な考えに発展させることができる。 ・周りの発言を受け止め、様々な感じ方に触れながら自分の考えを深めることができる。	発言、感想文の記述等 話し合い活動（言語活動の充実）
・道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている	・登場人物に自分を重ね合わせて考え、自分なりにイメージして理解しようとする。 ・自分自身を振り返り、自らの考えや行動を見直すことができる。	

5 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・働く喜びと充実した生き方の追求 「掃除の神様が教えてくれたこと」 ・かけがえのない生命 「あなたに」 ・場に応じた挨拶 「挨拶しますか、しませんか」 ・公正に考えるとは 「うわさで決めるの？」 ・信頼と敬愛に支えられた友情 「あるピエロの物語」 ・約束や時間を守る 「釣りざおの思い出」 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労 ・生命の尊さ ・礼儀 ・公正、公平 ・友情、信頼 ・節度、節制 等
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの役割を果たす日本人 「真の国際人 嘉納治五郎」 ・自分の行動に責任を 「ネット将棋」 ・きまりを守るということ 「オーストリアのマス川」 ・自然との共生 「トキのいる里をもう一度」 ・相手の立場を尊重 「ふと目の前に 森繁久彌」 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解、国際貢献 ・自主、自律、自由と責任 ・自然愛護 ・遵法精神、公德心 ・相互理解、寛容 等
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現 「イチローの軌跡」 ・続ける努力 「認められたクラブ」 ・友情を深めるために 「吾一と京造」 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心、個性の伸長 ・希望と勇気、克己と強い意志 ・友情、信頼 等